

UNITE FOR GOOD

よいことのために手を取り合おう

2025~26年度年度
国際ローター会長 Francesco Arezzo

Rotary
東京麹町



東京麹町ロータリークラブ

本日の例会プログラム

第33回例会 2026.6.8 (#2483)

悠の間

例会ホスト・紹介係 杉山会員
受付係 荒川会員 青山会員
司会者 乳井会員 ソングリーダー 末竹会員

卓話 「私の職業奉仕と中東情勢」

ガバナー補佐 垣見 裕司氏
(東京紀尾井町 RC)
紹介者 木寅幹事

前回の報告

第32回例会 2026.6.1 (#2482)

麗の間

例会ホスト・紹介係 林野会員
受付係 中村会員 浅野会員
司会者 乳井会員 ソングリーダー 保科会員

卓話 会員を知ろう ④

林野 秀徹会員・中村 和典会員
濱田 広道会員

会長報告

- 1) 本日は、会員を知ろうシリーズの最後となります。林野会員、中村会員、濱田会員には宜しくお願い致します。
- 2) 先週は、今期、次年度各委員長によるクラブ協議会にお集りいただきありがとうございました。その席に、久しぶりに守屋会員がいらしてほぼ回復された様子でとても嬉しいご報告です。今後も体調にはくれぐれも留意して活躍していただきたいと思えます。
- 3) 今日、米山奨学生のソン君が出席しています。カナダのブリティッシュコロンビアのRCの方がMUIにお越しです。クラブバナーを交換してください。

幹事報告

- 1) 先週のクラブ協議会にはお集まりいただき、有難うございました。次年度の各委員長は活動計画書を6月15日までに提出下さい。今期の各委員長は業績報告書を、7月末までにご提出ください。
- 2) 6月22日は夜間例会として最終例会を開催します。皆さまご参加ください。

例会記録

会員総数 60名 出席会員数 22名
ゲスト 0名 ビジター 1名
その他 1名 海外ビジター 1名
事務局 3名

ニコニコボックス

荒川会員:お久しぶりです、孫が生まれました。
齊藤会員:本日の理事会宜しくお願いします
結婚記念日:加賀会員(1日)浅野会員(21日)
植芝守央会員(6日)
パートナー誕生日:荒川会員(6日)金子会員(7日)
久保田会員(19日)
誕生日:植芝充央会員(27日)

次回予告

第34回例会 2026.6.15 (#2484)

会場:悠の間
例会ホスト・紹介係 藤田会員
受付係 保科会員 須藤会員
司会者 乳井会員
ソングリーダー 末竹会員

会員名簿を更新いたします。
名簿は1年おきに作成しております。
皆様の名簿のデータに変更やご希望がございましたら、6月10日までにお知らせください。

卓話「知と汗と涙の

近大流コミュニケーション戦略」

近畿大学常任理事(経営戦略部長)

世耕 石弘氏
紹介者 木寅会員

日本のエネルギー問題～原発・自然エネルギー・石油危機～

さくら法律事務所長 河合弘之会員 (5/25)



今日は、原発、エネルギー、そして化石燃料についてお話しします。まず、皆さんにクイズです。イスラエルは核兵器を持っているでしょうか？……答

えは「イエス」。では、原発は持っているでしょうか？……答えは「ノー」です。

なぜ、国防意識が極めて強いイスラエルが原発を持たないのか。それは、原発が敵の攻撃に対して非常に脆弱だからです。通常兵器で攻撃され事故が起きれば、被害は核兵器以上とも言われます。福島第一原発事故では、広島原爆の168倍もの放射性物質が放出されました。核兵器は熱線と爆風で一瞬にして殺傷しますが、原発事故は放射性物質によって長期にわたって生物学的・遺伝的な被害を及ぼし、国を滅ぼしかねません。

現在、ウクライナでも原発が攻撃・占拠されています。原発を狙われた国は、反撃すれば事故のリスクが高まるため、抵抗できずに屈するしかありません。ひるがえって日本はどうでしょうか。若狭湾には11基もの原発が並んでいます。その対岸にある北朝鮮からミサイルが撃たれば、わずか7分30秒で着弾します。今のミサイルは誘導精度が高く、ドローンによるピンポイント攻撃も可能です。本当の愛国者であれば、この「最大のアキレス腱」である原発には反対すべきなのです。

今、中東情勢の緊迫化で石油供給が危ぶまれています。しかし、もし日本が自然エネルギー100%であれば、これは「対岸の火事」です。歴史上の戦争の多くは、石油や石炭といったエネルギー資源の奪い合いでした。世界が自然エネルギーで回るようになれば、戦争の原因の大半が消えていくのです。

「自然エネルギーはお天気任せ」というのは過去の話です。2022年には、世界の自然エネルギーの発電量がすでに原子力発電を追い抜きました。原発は建設に2～5兆円もの巨費と10年以上の歳月がかかるため、世界的には衰退傾向にあります。対して太陽光や風力は幾何級数的に成長しており、特に中国が世界のパネルシェアの80%を握るなど、圧倒的なスピードで普及させています。日本はこの間、原発に固執するあまり産業が停滞し、かつのトップシェアを中国に明け渡してしまいました。

しかし、この大波は必ず日本にも来ます。原料費がタダの自然エネルギーを使う国と、高い化石燃料を買い続ける日本とでは、経済競争力で勝負にならないからです。

幸い、日本には壁や曲面にも貼れる「ペロブスカイト太陽電池」という、日本人が発明した次世代技術があります。こうした技術を活用し、自然エネルギーへ転換すれば、エネルギーが自給自足でき、地方経済も活性化します。データセンターの電力不足も、10年かかる原発の新設ではなく、短期間で設置できる太陽光で解決すべきです。

福島第一原発の廃炉に「40年かかる」と言われていますが、これも根拠のない出任せです。事故から15年(2026年現在)経っても、880トンあるデブリのうち、回収できたのはわずか0.9グラムです。取り出すことも、持っていく場所もありません。最終的にはチェルノブイリのように「石棺」「鉄棺」にするしかないのが現実ですが、政府も東電も、世論が「もう諦めよう」と言うのを待っている状態です。さらに、日本は世界屈指の地震大国です。世界のマグニチュード6以上の地震の4分の1が、わずか400分の1の面積しかない日本で起きています。100倍の発生率です。地震に弱い原発は日本ではやってはいけません。

「核兵器を持つための潜在的能力として原発が必要だ」という声もありますが、それも間違いです。日本が核を持てば、世界中の国々が雪崩を打って核保有を始め、核拡散条約(NPT)は崩壊し、テロリストに核が渡る極めて危険な世界になります。

私の予言ですが、近い将来、必ず自然エネルギーによる「新オール電化時代」が来ます。化石燃料は「燃やす」のではなく「材料」として使い、動力はすべてタダ同然の自然エネルギーで賄う。蓄電池技術の進化により、不安定さも解消されます。

もう一度原発事故が起きれば、この国は終わります。だからこそ、私は脱原発を訴え続けます。資源の取り合いがなく、各地域が自立できる明るい未来を、皆で目指していこうではありませんか。

(余談)最後に、6月20日に私が主役(土佐坊昌俊役)を務める能『正尊』を上演します。源義経を討とうとする悪役ですが、非常に見応えのある演目です。私の前には野村萬斎さん、ワキ方には人間国宝の宝生欣哉さんという豪華な布陣でお送りします。入場無料ですので、ぜひお越しください。ご清聴ありがとうございました